



札幌学院大学コミュニティカレッジ 2016 後期講座

「特別支援教育の視点から考える今日の教育と子育ての課題」

－発達障害概念は家庭教育、社会教育、学校教育をどう変えたのか－

ゲストスピーカーには、本学学生が自身の体験を交え講演！

札幌学院大学では、生涯学習のための有料講座「コミュニティ・カレッジ」を開催しております。本講座は、発達障害、虐待・愛着障害、不登校・ひきこもり、触法行為など、今日の子育ての困難さについて、特別支援教育の視点から、解決への方策を考えてみようという試みです。

第1回目は、本学人文学部人間科学科4年で、子ども食堂“ここなつ”学生代表を務める二本松 一将（にほんまつ かずまさ）さんがゲストスピーカーとして、自身の体験を交え講演いたします。コーディネーターは、本学人文学部二通 諭（につう さとし）教授が務めます。

「特別支援教育の視点から考える今日の教育と子育ての課題」
－発達障害概念は家庭教育、社会教育、学校教育をどう変えたのか－（全4回）

第1回 テーマ「自身の抱える愛着障害性とどのように向き合い克服するか」

ゲストスピーカー：^{にほんまつ かずまさ}二本松 一将（札幌学院大学人文学部人間科学科4年）

講師紹介：1994年7月17日生まれ。東京都出身。16歳の誕生日に両親が離婚。父親についていくも関係がうまくいかず、大学進学は北海道を選択。大学進学後、自身に愛着障害性があることを発見。現在は子ども食堂“ここなつ”の学生代表を務め、奨学金問題に関心をもっている。



コーディネーター：^{につう さとし}二通 諭（札幌学院大学人文学部教授）

<内容>親に捨てられたトラウマが学びの原動力になりました。大学では多くのキーワードに出会い、自己教育の道を拓くことができました。新しい出会いと経験、創造的な活動がより良い〈記憶〉になっていくのです。

<日時>11月10日（木）18:30～20:30

<会場>札幌学院大学社会連携センター（札幌市中央区大通西6丁目）

<問合先>札幌学院大学社会連携センター

ホームページ <http://www.sgu.ac.jp/rcc> TEL 011-280-1581

窓口時間/13:00～20:00（月～金）※土曜日は10:00～20:00

※一般の方の参加申込は、終了しております。

※この資料は、江別市政記者クラブ、北海道教育記者クラブに配布しています。

【取材のお申し込み】

〒069-8555 北海道江別市文京台11番地 札幌学院大学広報入試課広報係

代表 011-386-8111（内線 3514）平日 9:00～17:00 土曜 9:00～12:00

URL <http://www.sgu.ac.jp/> E-Mail: kouhou@ims.sgu.ac.jp